

J A 御中
(営農担当部署)

福岡県米・麦・大豆づくり推進協議会
(事務局：J A福岡中央会 担い手・営農サポートセンター)
(公 印 省 略)

[緊急]

営農情報7

台風8号接近に伴う技術対策について

気象庁によると、台風8号が九州に近づいています。8月6日(火)頃に九州北部に最接近することが予想されておりますので、下記の事項を参考に、技術対策の実施をお願いします。

留意事項

ほ場・農業用施設の見回りは、気象情報を十分に確認し、大雨や強風がおさまるまでは行わないで下さい。また、大雨等が収まった後の見回りにおいても、増水した水路など危険な場所には近づかず、人命を最優先に事故防止の徹底に努めてください。

1 水 稲

【台風接近前】

- 台風通過時に深水管理を実施する。(強風による葉の裂傷、茎葉の振動の防止。)
特に、普通期早植え水稲は出穂期前後のため、必ず深水管理にして穂を保護する。

【台風通過後】

- 台風通過後の数日間は間断かん水を避け、ほ場を湛水状態とする。
- 冠水した場合には、早急に排水をはかり冠水時間を短くする(十分な排水ができない状況でも、葉の先端が水面から出るよう最大限の努力をする。)
- 排水後は、できるだけ新しい酸素を含んだ用水との入れ替えを実施する。

2 大 豆

【台風接近前】

- 畝溝や排水溝の整備を行う。

【台風通過後】

- 畝溝や排水溝等の点検・再整備を行い、速やかに排水を図る。

以上